

# 令和 7 年度事業計画

公益財団法人 茨城国際親善厚生財団

当法人は、令和 7 年度（令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日）の事業活動につき下記のように計画しています。

## 公 1 災害時における茨城県内の緊急医療福祉支援体制を強化する事業

### （1－1）緊急医療福祉支援活動に関する研修会・講演会の開催事業

当法人は、大規模災害発生時の緊急医療福祉支援体制を強化するため、当法人のグループ法人である社会医療法人達生堂城西病院、社会福祉法人達生堂と一緒に、県内の医療福祉関係者のネットワーク構築・強化、医療福祉支援の実施に関する知識と技能向上のための研修会・講演会の開催、及び、これらを広く県民に対して情報発信するための広報活動を行っており、令和 7 年度もこれらの事業を継続します。具体的には、当法人を含む達生堂グループの広い人的ネットワークを活かし、DMAT（災害派遣医療チーム）の研修インストラクター、消防関係者、警察関係者、救急医師・看護師等を講師に招き、緊急医療福祉支援活動に意欲のある県内及び近県の医療福祉関係者を募集して専門性の高い研修会・講演会を開催します。ただし、医療福祉の現場における感染症の状況は深刻なものであり、多人数が集合する様態の事業については慎重に行うこととします。

### （1－2）緊急医療福祉支援活動関係者による国際会議の開催事業

当法人は、タイ王国の王室法人「メーファールワン財団」及びタイ王国チェンライ県メーサイ市に所在するタイ王国国立メーサイ病院との間で医療福祉支援と交流等に関する協定を締結しており、これらの協定に基づいてタイ王国から医療福祉関係者を招き、日本の最新の医療福祉事情を視察してもらうと同時に、日本の災害時に類似した環境であるタイ王国北部山岳地域における医療福祉の実際について、茨城県及び近県の医療福祉関係者との研修会、講演会、会議などの交流の場を通して協議するなど、茨城県内の災害時における緊急医療福祉支援活動に資する事業を行っていますが、人的交流を中心とする当事業は感染症の状況を十分に観察のうえ、慎重に実施を検討する予定です。

### （1－3）緊急医療福祉支援活動を担う人材の育成

災害発生時には、平常時と異なり、衛生状態の悪化、使用できる設備・機器・薬品類の限定、移動の困難などの劣悪な環境が想定されます。当法人は、医療福祉体制が十分でないタイ王国北部山岳地域での医療福祉支援活動の実際を視察研修するため、茨城県及び近県の医療福祉スタッフをタイ王国北部山岳地域に派遣する事業と、タイ王国から医療福祉スタッフを日本に招き、両国の医療福祉関係者同士の交流を行う事業を実施しています。しかし、医療福祉に関する事業でもあり、感染防止に十分な配慮をし、日本からタイ王国への医療福祉関係者の派遣、タイ王国からの招待とともに、状況をみて慎重に行うこととします。また、当法人がこれまで実施してきたアジア・中近東・アフリカ等での海外医療支援活動の経験を伝えるため、茨城県及び近県の医療福祉従事者等に対する研修会・講演会を開催し、茨城県内の災害時における緊急医療福祉活動を担う人材の育成する事業については感染症の状況をみて慎重に実施を検討します。

### （1－4）茨城県内の大規模災害時における緊急医療福祉支援活動の実施

当法人は、茨城県内に大規模災害が発生した場合に適切な緊急医療福祉支援活動が行えるよう、平成 29 年 3 月に城西病院が茨城県から認定を受けた DMAT の技能向上とネットワークの強化をはかります。当法人グループの DMAT は、県内以外にも、令和 6 年 1 月に発生した能登半島地震の

災害現場にも出動したように、万一災害が発生した場合には機動的に出動いたします。また、グループ敷地内にあるドクターへリ用ヘリポートの整備・活用、「達生堂グループ急変対応チーム」（二次救命処置 ACLS の有資格者による救命チーム）の緊急救命措置技能の向上のための支援活動を行っています。さらに、平成 27 年 5 月に結城市との間で締結した「災害時応援協定」と平成 30 年 7 月に地元 4 自治会との間で締結した「災害時等における対応に関する協定」に基づき、市民・県民に対する救命訓練の実施、及び、大規模災害時の達生堂グループの医療福祉スタッフの派遣と、グループ施設を避難所として提供する態勢の整備を行っています。これらの活動を通じて、県内全域に渡る医療福祉支援のためのネットワークデータベースの構築を目指します。

#### 公2 発展途上国において保健・医療・福祉支援活動を行う県内の法人・個人等に対する助成事業

発展途上国において保健・医療・福祉支援活動を行う茨城県内の法人・個人に対して、随時助成を行う事業であり、今年度も状況に応じて実施を検討いたします。

#### 公3 茨城県内在住の児童・青少年と発展途上国の児童・青少年の相互理解を目指した短期留学事業

当法人は、茨城県と発展途上国の相互理解と友好関係の発展に寄与すべく、茨城県とタイ王国の高校生等青少年の相互短期留学事業を行ってきました。しかし、新型コロナウィルス感染症問題の発生以後は、青少年の健康と安全を考慮し、4 月に実施していたタイ王国高校生の茨城県への短期留学と、8 月に実施していた茨城県の高校生のタイ王国への短期留学を中止しており、今年度も当事業は実施しない予定です。

#### 公4 外国人技能実習制度の介護分野における監理団体としての事業

当法人は、平成 30 年 3 月、「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」に基づく外国人技能実習制度の監理団体の認可を法務省と厚生労働省より取得、さらに、平成 30 年 6 月、茨城県より当事業の公益認定を受け、発展途上地域の外国人を日本に招き、介護職種に係る技能等の移転を図り、その国の経済発展を担う「人づくり」に協力することを目的として当該制度の監理団体としての活動を行い、これまでに中国、タイ王国、インドネシアからの実習生を導入してまいりました。しかし、令和 6 年に外国人技能実習制度の廃止が決定されたことにより、当年度からは、新たな実習生の導入を中止することとします。